

教科名	国語	週時間数	3時間	学年	3年
使用教科書 副教材等	・教科書 国語3(光村図書) 中学書写(光村図書) ・副教材 学習漢字ノート(浜島書店) 新・国語の便覧(正進社) すらすら基本文法(浜島書店) 国語スイッチ(正進社)				

教科のねらい	言葉の意味、働き、使い方等に着目しながら、言語活動を通して、国語で表現された内容や事柄を正確に理解する資質・能力、国語を使って内容や事柄を適切に表現する資質・能力を身に付ける。 ＜知識及び技能＞に関するねらい ・言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、我が国の言語文化に関することなど、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ＜思考力、判断力、表現力等＞に関するねらい ・論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 ＜学びに向かう力、人間性等＞に関するねらい ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。		
授業の進め方	・4人班を中心としたグループ活動を取り入れる。 ・教科書を中心にして進めるが、必要に応じて、プリント学習、辞書などを活用する。 ・教材によって学習活動課題は異なるが、発表・音読・スピーチ・表現活動など生徒一人ひとりが活動できる工夫を行い、興味・関心を高める。		
定期考査	出題方針	授業内容を中心に、観点別の問題を出題する。（読解問題を中心として、言語・作文問題など。）漢字問題は、「漢字ワーク」より出題。	
	範囲 （予定）	1学期中間	詩 物語 文法 漢字 作文
		1学期期末	説明文 俳句 文法 漢字 作文
		2学期中間	物語 説明文 文法 漢字 作文
		2学期期末	古典 詩 物語 文法 漢字 作文
		学年末	説明文 物語 文法 漢字 作文
	主体的に学習に取り組む態度	振り返りの内容、提出物・課題への取り組み方、授業中の様子	
思考・判断・表現	授業中の課題の内容、宿題、聞き取りテスト、定期テスト（話す・聞く・読む・書く）		
知識・技能	漢字小テスト、書写、暗唱、単元テスト、定期テスト（漢字・文法・古典知識・文学史等）		
学習方法 （先生からのアドバイス等）	・自分の考えをしっかりと持った上で、他の人の考えを聴く。 ・わからないことをそのままにせず、復習、漢字テスト勉強等、自ら学習を進める。 ・ワークや過去の入試問題などで、多様な出題形式に慣れる。 ・新聞や本を読み、多様な表現に触れたり、知識を深めたりする。		

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	・詩	「世界はうつくしいと」	◎語句の意味や詩の構成に注意して、詩を読み深め、自分にとっての「うつくしいもの」を交流する。
		・小説	「握手」	◎登場人物の考え方や生き方を読み取り、自分の考えを伝える。
	5	・話す/聞く	「意見を聞き、適切さを判断する」	◎スピーチを聞き、意見や根拠の適切さを判断する。
		・言語	「文法への扉1」	◎文法の知識を生かした推敲や読解のポイントについて理解する。
		・話す/聞く	「説得力のある構成を考えよう」	◎聞き手を説得できるように話の構成を考える。
	6		「言葉1 相手や場に応じた言葉遣い」	◎相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、適切な表現の選び方を考える。
		・漢文	「学びて時に之を習ふ」	◎「論語」を読み、名言に触れる。
		・論説	「作られた『物語』を超えて」	◎論説の特性を踏まえて読み、論理の展開のしかたを捉える。
		・書く	「論理の展開を意識して書こう」	◎論理の展開を考え、文章の構成を工夫する。
		・言語	「漢字1 熟語の読み方」	◎熟語の読み方について理解する。
		・俳句	「俳句の可能性」	◎俳句の作者の表現意図を考え、表現のしかたを評価する。
	7	・随筆	「言葉の釣り糸を垂らす」	◎文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考える。
		・言語	「言葉2 和語・漢語・外来語」	◎和語・漢語・外来語の定義、混種語について理解する。
		・情報	「実用的な文章を読もう」 「報道文を比較して読もう」 「情報整理のレッスン」	◎必要に応じて適切に情報を読み取り、生活に生かす。
		・読書活動	「読書を楽しむ」	◎さまざまな本の探し方を知る。
		・読書	「『私の一冊』を探しにいこう」	
2	9	・詩	「挨拶一原爆の写真によせて」	◎詩の表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深める。
		・小説	「故郷」	◎作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。
	10	・書く	「[推敲]論理の展開を考える」	◎社会生活の中から題材を探し、論理の展開などを考えて話の構成を工夫する。
		・言語	「言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語」	◎慣用句・ことわざ・故事成語について理解を深める。
		・話す/聞く	「聞き上手になろう」	◎相手の立場に寄り添いながら話を聞く。
		・論説	「漢字2 漢字の造語力」	◎漢字の造語力について理解する。
		・言語	「複数の意見を読んで、考えよう」	◎文章を批判的に読み、論理の展開や表現のしかたを評価する。
		・書く	「考えを効果的に伝えよう」	◎根拠をもって論じたり、評価したりする。
		・言語	「文法への扉2」	◎「ない」の違いについて理解する。
		・詩	「初恋」	◎言葉の響きやリズムを味わいながら聴き、描かれた情景や心情についてまとめる。
	11	・古文	「和歌の世界」 「古今和歌集 仮名序」 「君待つと」 「夏草」	◎和歌の詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取る。
				◎歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える。
	12	・論説	「それでも、言葉を」	◎言葉の変化について理解する。
		・話す/聞く	「[話し合い]話し合いを効果	◎効果的な話し合いの進め方について考える。

		・言語 ・話す/聞く ・読書	的に進めよう」 「漢字3 漢字のまとめ」 「合意形成に向けて話し合おう」 「本は世界への扉」	◎漢字について理解する。 ◎さまざまな意見をまとめながら提案をまとめる。 ◎筆者の生き方について自分の考えをもつ。
3	1 2	・随筆 ・詩 ・話す/聞く ・書く ・詩	「温かいスープ」 「アラスカとの出会い」 「律儀な桜」 「わたしを束ねないで」 「三年間の歩みを振り返ろう」 「初日」	◎筆者の考える「国際性」について、自分の考えをもつ。 ◎筆者の生き方について、自分の考えをもつ。 ◎時とともに変わるもの、変わらないものについて考える。 ◎詩に込められた作者の思いを読み取り、自分の生き方に生かす。 ◎三年間の学びを振り返る。 ◎詩の中の言葉や表現から、描かれた情景や心情を捉える。

・漢字学習については、副教材で進めていく。

・書写については、2学期を中心に取り組んでいく。(3時間程度)